

川北の元老 諸君

- 八月十二日以降數回に亘りて行水丸太筆端、演説會上於諸君は總同盟の幹部等が何と云つたか覺えて居たらしく
○彼等は牛振り身振り譯山上の手協力を排し能延十昇川へしと
絶叫したのである
○毎協を排すと云ふ牛の根も乾燥中に總同盟の西尾主事
は資本家より牛先走る毎月某と「ニソリ」某所にて倉庫にて
鮮かず牛の中で例の奥の牛を出した相手
○吾久は一度起つて歎息以上館逃れの左
○今度の手協事変と餘りか、ミジ目ではありか
○吾等は能く近隣の事を主張した然し魔の牛は仲間が左
吾等の主張は破水夫
○吾等は決してこの手協事に服ひはまらず起つて歎息
夫心少ん左
○煽て上げてストライキをやうがく担任せず資本家不善
○頗る怪物が現水夫

○諸君お氣を付けよ知り未知の間の職業的労働
運動者との道具にありつゝある事
○吾等は誰も
○諸君が自ら目醒め自分で立て戻す事立て止ま
左の左

組合同盟 大阪労工組合
鹿探團